

市のがん検診の 新たな取り組み

◆胃がん・肺がん無料受診券

40歳の人に加えて、65歳になる人も無料で受診できるようになりました。

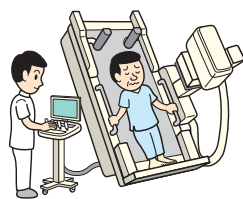
◆セットがん検(健)診の対象年齢 上限撤廃

セットがん検(健)診は医療機関で複数の検(健)診を同日にまとめて受診できます。今年度、上限年齢を撤廃し、69歳以上の人も受診が可能になりました。

◆令和7年度職域等がん検診 受診状況の報告

正確な受診率の把握のため、勤め先などでのがん検診受診状況について、国から報告が求められています。報告をもとに未受診者や要精密検査者への効果的な受診勧奨へつなげます。対象者は二次元コードから報告をしてください。

☎令和7年4月1日～令和8年3月31日に、勤め先(家族の勤め先も含む)や人間ドックなどの任意(自費)で、肺・胃・大腸・乳・子宮がんの検診を受診した方



職域等がん検診
受診状況報告

市のがん検診の申し込み方法

市のがん検診は、市内在住の方が受診することができます。対象年齢があります。個別検診・セット検(健)診は医療機関へ直接予約、集団検診は電話でびなウェル(☎046・204・4560)または健康推進課へ。



案内ページ



ピンクリボンバッジ

ピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進する世界規模のキャンペーンです。
ピンクリボン運動の由来は乳がん で亡くなった患者の家族が、「同様の悲劇が繰り返し起きないように」と願いを込めてピンクのリボンを作ったこととされています。全国各地でピンク色のライトアップや街頭啓発を行い、早期発見に向けた検診受診などと呼ばれます。



案内ページ



10月はピンクリボン月間

市のピンクリボンイベント

乳がんを知ることが、予防の第一歩です。今年度は主に5つの取り組みを行います。

①ウインドウアート

市庁舎の窓をピンク色のハート型にアレンジし、月間をPRします。

②ピンクリボンメッセージアート

大切な人への健康メッセージをハート型のカードに書きましょう。

③イチゴマルシェブース

啓発ブースを出展します。

期 10月1日(木)～25日(日)

場 市役所・ビナガーデンズパーチ4階・6階(めぐみ町3・1)、海老名マルイ(中央1・6・1)



④海老名マルイ特設ブース

啓発ブースを出展します。

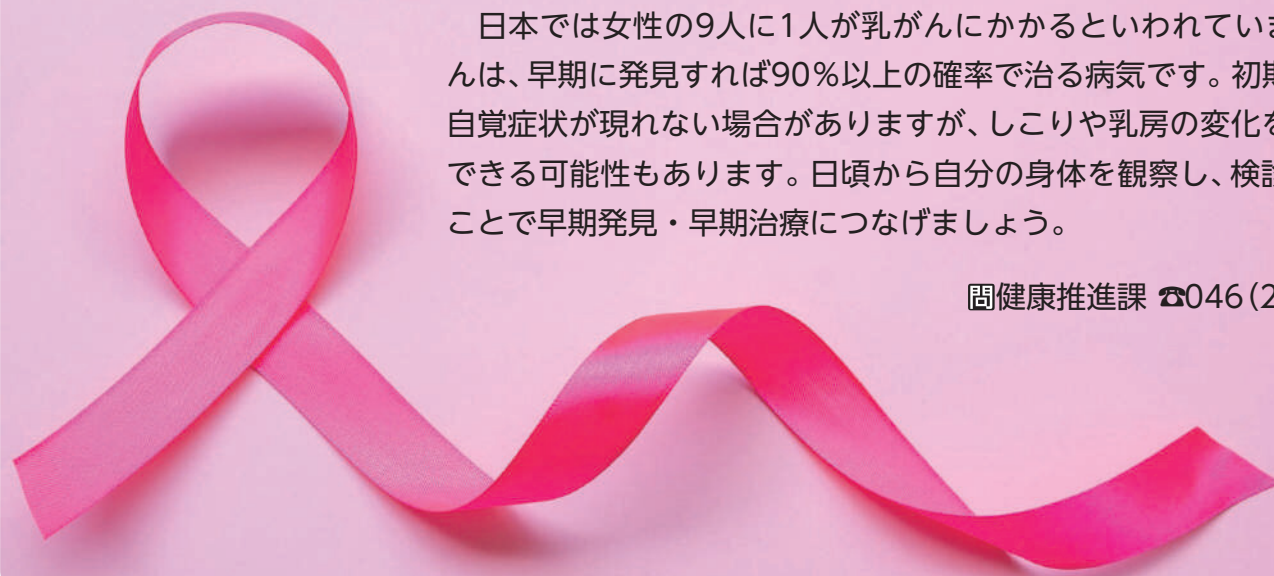
日 10月18日(日)11時～15時

場 海老名マルイ4階特設会場(中央1・6・1)

⑤小田急電鉄(株)との取り組み
包括連携協定を締結した小田急電鉄(株)と協力し、ピンクリボン運動を啓発します。

☎海老名駅駅間自由通路内の照明をピンク色にライトアップ・ビナガーデンズの一部のテナントスタッフがピンクリボンバッジを着用・啓発のためのポップの掲示

乳がん検診で早期発見・ 早期治療につなげましょう



日本では女性の9人に1人が乳がんにかかるといわれています。乳がんは、早期に発見すれば90%以上の確率で治る病気です。初期段階では自覚症状が現れない場合がありますが、しこりや乳房の変化を自ら発見できる可能性もあります。日頃から自分の身体を観察し、検診を受けることで早期発見・早期治療につなげましょう。

健康推進課 ☎046(235)7880



ブレスト・アウェアネスで 乳がん予防

ブレスト・アウェアネスとは、乳房を意識する生活習慣のことです。日頃の生活で次の4つのポイントを意識しましょう。

①乳房の状態を知る

入浴や着替えの時などに、乳房を見て触ります。日頃から乳房のセルフチェックをしましょう。

②乳房の変化に気を付ける

「乳房の腫瘍」「乳頭からの分泌物」「乳頭や乳輪のただれやびらん」「乳房の皮膚のへこみや引きつれ」「乳房痛」の変化に気を付けましょう。

③変化に気付いたら すぐ医師に相談する

②のいずれかの変化に気付いたら、すぐに医療機関を受診しましょう。

④40歳以上は2年に1回 乳がん検診を受ける

乳がん検診は死亡率を減少させることが科学的に証明された有効な検診です。少なくとも2年に1度は検診を受けましょう。

